

ホームページ上の情報公開文書

疫学・倫理審査委員会受付番号：10-052

研究課題名：

「諸種悪性腫瘍におけるアポトーシス関連分子群の免疫組織化学的証明と癌化学療法の効果判定」

申請者（代表者）：藤田保健衛生大学医学部第一病理学講座・教授・堤 寛

分担者：藤田保健衛生大学医学部・第一病理学講座・准教授・稲田 健一

分担者：藤田保健衛生大学医学部・第一病理学講座・助教・塩竈 和也

試料：

藤田保健衛生大学病院において平成 11 年～平成 21 年の間に外科手術を受けた患者のホルマリン固定パラフィン包埋ブロック（乳癌、肺癌、食道癌、舌癌、甲状腺癌、膀胱癌、神経芽細胞腫、悪性黒色腫、悪性リンパ腫、平滑筋肉腫をそれぞれ 10 例。胃癌・大腸癌は、術前化学療法を施行した症例および化学療法を施行していない症例を各 10 例。陽性対象として扁桃および正常消化管上皮を数症例ずつ使用）。

研究目的：

本研究では、アポトーシス・マーカーを用いて諸種悪性腫瘍を対象とした免疫組織化学的解析を行うことにより、アポトーシス・カスケードの臓器・疾患特異性を証明する。さらに胃癌・大腸癌を対象として、術前化学療法に反応した症例と化学療法を施行していない症例の間に質的差異があるか確認し、化学療法によるアポトーシス誘導の特異的マーカーを検索する。本研究の解明により、組織切片上で簡便・確実、かつ効率よくアポトーシスの評価が可能になり、アポトーシスの組織化学的多様性が明らかとなる。さらに、アポトーシス・マーカーによる抗癌剤治療効果の指標となることが期待される。

個人情報の保護と試料の保管と破棄について：

患者の個人識別情報（氏名、個人を特定できる情報）は、個人情報管理者によって管理する。個人識別情報を他の情報から分離して、新たな症例番号を付加し連結可能な匿名化を行なう。通常は付加番号で識別し、その他の個人情報は専用のノート型コンピューターでパスワード等によってロックをかけて厳重に管理し、専用の金庫で保管することにより漏洩に対する安全対策を講じる。個人情報の管理は、上記の手順に従って研究代表者自身が行う。本研究の実施における試料等の利用目的を含む情報をホームページ上で公開する。万が一、被験者が試料の利用を拒否してきた場合、すみやかに研究対象から除外する。発表に際しては被験者の匿名性を確保する。顕微鏡標本の管理は藤田保健衛生大学医学部第一病理学講座で厳重に行なう。研究終了後、すべての対応表を破棄する。免疫染色後の顕微鏡標本は、アポトーシスと諸種悪性腫瘍の関連を示す重要な資料として半永久的に保存する。

【問い合わせ先】 藤田保健衛生大学医学部第一病理学講座
助教：塩竈 和也（しおがま かずや）

TEL: 0562-93-2428 FAX: 0562-93-3063

E-mail: kazshio@fujita-hu.ac.jp